

自
十三年三月
至
九年五月
日 日

滿
通
商
條
約
關
係
一
件

第
卷

B
2
0
MA/51 0

B-0206

0206

電信案	一、暹羅側ハ西貢米ト、他開キヲ斯 クスル為暹羅米一ツポクルニ付五拾銭 (CIF)	暹羅側代表者、來滿方希望ニ ズルニ付、右暹羅側高向ニ申入 レ、本件ニ至現方、少盡力相成度 記	暹羅ニテ本取極折衝促進ノ為 暹羅側代表者、來滿方希望ニ ズルニ付、右暹羅側高向ニ申入 レ、本件ニ至現方、少盡力相成度 記
-----	--	---	--

S

22002

02

電信課長 勅任事務官 主 通商局長 任 主 通商局第一課長

昭和十三年三月廿五日起草

電信案

往電第二六号ニ関シ

満洲國側ハ左記ニ依リ暹羅國
トノ間ニ求償取極ヲ締結致度

第 四 〇 〇 號

電送第 8035 號
昭和十三年三月二十八日 時 50 分發

件 宛
村井公使

名件録記 發
廣田大臣

S

22002

01

B-0206

0:29

四、五ニ對シ、暹羅、四維、側、輸、入、ス、ヘ、キ、滿、洲、國、
產、品、ハ、大、豆、豆、粕、豆、油、柞、櫟、油、芥、油、
西、瓜、糖、硫、安、等、總、額、四、百、萬、圓、程、度、
ト、ス、ル、コト

在、南、大、使、ニ、轉、電、セ、リ

電 信 案

外 務 省

(原議用紙乙)

22002

04

電 信 案	外 務 省	方 值 引 スル ト 二、右ノ條件トシ滿鐵西國間ニ二對 一、程度ノ求價的取極ヲ爲ス 三、右ノ取極ニ依ル滿鐵西國間ノ輸入スル鐵道用品 暹羅米 (五百萬圓) 生護鐵 (二百五十萬圓) 錫及木材 (五十萬圓) 等 總額 八百萬圓程度トスル ト
-------------	-------------	--

(原議用紙乙)

22002

03

懸案 (分類)

東亞局 調查部 歐亞局 條約局

通商局 總務課長 第二課長 第三課長

電 信 案	P リ タ シ	往電第四〇號ニ関シ	本件其ノ後ノ経過ハ係同電	電 信 案	外 務 省	電送第 12062 號	主 通商局長ノ勅任事務官	主 通商局第一課長	昭和十三年五月九日 起草
						昭和十三年五月九日 分發	名 件 宛	名 件 録 記	發
						第 二 七 號	協定締結ノ件	廣田大臣	

S 22002 06

中北十

(分類)

電 信 案	本文(右同電全文)	本大臣 發 通商局長ノ勅任事務官	宛電報第 四〇 號	(電信總番號 一〇三二)	電送第 8036 號	主 通商局長ノ勅任事務官	主 第一課長	昭和十三年五月廿九日 起草
						昭和十三年五月廿九日 分發	名 件 宛	名 件 録 記
					第 三 二 二 號	協定締結ノ件	廣田大使	

S 22002 05

B-0206

10

100

1

(一)

シ

派

度

七

リ

100

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事

本信寫挿入先

寫送先

EE	門	類	項	目	號
1	1	1	1	1	1
0	0	0	0	0	0
1	3	2	1	1	1

昭和13

一三九三五

暗

盤谷

五月十八日

午後發

通、亞

廣田外務大臣

第一一五號

村井公使

貴電第四〇號ニ關シ（滿滬間求償貿易協定締結ニ關スル件）

（一）滿洲國政府カ暹羅米ニ對シ特權的地位ヲ附與セントスルニ對シテ

ハ當國政府ニ於テモ充分其ノ趣意ヲ了解シ往電第六九號使節派遣

ノ件モ目下考慮中ナルカ滿洲國側カ希望スルカ如キ二對一程度ノ

求償協定締結方ニ關シテハ大ナル難色ヲ示シ居リ當方ニ於テモ協

和問題ヲ暫ク措キ先ツ使節派遣ノ件ヲ從惠シ居ル次第ナリ

求償協定締結ノ難點ノ一ハ當國市場ニ於ケル滿洲國產品ノ消

外務省

S

22002

07

滿洲國商降約7保一件

B-0206

0:32

化狀況極メテ微弱ナルコトナリ一昨年度ノ統計ニ依ルニ大豆、豆粕、豆油、蕎麥、硫安、西瓜種ノ六種產品ノ當國輸入ハ僅ニ五十三萬「チカル」ニシテ右ノ内日滿兩國ヨリノ輸入額ハ十五萬「チカル」ニ過キス假ニ右產品ヲ滿洲國ノミヨリ輸入スルトシテモ其ノ總額ハ右ノ通りニテ又將來ノ見込モ當國ノ經濟狀況ノ現狀ニ顧ミ多クヲ期待スルコトヲ得ス要之御來示ノ四百萬圓程度ノ輸入ヲ暹羅側ニ望ムコトハ當國市場ノ能力ニ顧ミ事實上無理ナリト存ス次ニ難點ノ二ハ當國ニ爲替管理ノ如キ制度ナク此ノ種收極ノ實行ニ支障ヲ來スヘキノミナラス此ノ種ノ協定ヲ滿洲國トノ間ニ締結セシムルコトハ現在自由貿易主義ヲ執リツツアル當國ヲ驅リテ諸外國トノ間ニ割當制度ヲ採用セシムルノ端緒ヲ造ラシムルコトト

外務省

S 22002 08

ナリ其ノ結果ハ著シク片貿易國タル日本トノ關係ヲモ取極ヲ以テ調節スルコトヲ誘發スルノ惧アリ
(三)依テ右諸點ヲ考慮シ滿洲國ニ於テハ協定締結ニ關スル希望ハ此ノ際之ヲ放棄シ今日ニ於テハ右ニ依リ暹滿關係ノ接近方ヲ計ルニ止メ通商上ノ利益ハ兩國關係ノ進展ニ伴ヒ漸次之ヲ收ムヘキヲ至當ト存ス尤モ暹羅側ノ使節派遣ハ暹滿間將來ノ關係増進乃至協定締結誘導上有意義ナルニ付目下折角手配中ナリ
滿ハ轉電アリタシ

外務省

S 22002 09

B-0206

0033

發信用執務用			
主信	1	1	2
附甲	1	1	2
乙			
丙			
丁			
備考			

公 信 案	多 ル ニ 付 馬 参 考 迄 方 終 ニ 送 付 ス	本 件 ニ 関 シ 在 運 材 井 中 使 ヨ リ 別 紙 寫 一 通 電 報 アリ	名 件 満 運 向 求 償 貿 易 協 定 第 一 課 長 付	名 人 信 受 陸 軍 少 務 局 長	通 一 機 密 第 四 五 六 號	主 管 通 商 局 長 勅 任 事 務 官	任 主 通 商 局 第 一 課 長	昭 和 十 三 年 五 月 廿 四 日 起 草	文 書 課 發 送 昭和拾參年五月廿四日發送濟 淨書 吉井一校(原稿) (淨書)	文 書 課 長	別 紙
外 務 省											

22002

11

23 74

(分類)

電 信 案	本 大 車 發 本 大 臣 宛 電 報 第 一 一 五 號 (秘書) 一三九三五	本 文 (右 同 電 全 文)	第 五 六 〇 號	電 送 第 12981 號	主 管 通 商 局 長 勅 任 事 務 官 第 一 課 長	昭 和 十 三 年 五 月 廿 九 日 起 草
				昭 和 十 三 年 五 月 十九日 時 分 發	宛 在 滿 植 田 大 使 使	發 廣 田 外 務 大 臣
外 務 省						

22002

10

B-0206

一 締約國ノ一方ハ他方ノ臣民若ハ人民ニ對シ自國ノ法令ニ從ヒ其ノ
領域内ニ到リ旅行シ及在留居住スルコトニ付自由ヲ與フヘク身體
及財産ノ安全ニ付完全ナル保護及恒常ナル保障ヲ與フヘシ
二 滿洲國政府ハ其ノ領域内ニ於テ泰國人民ニ對シ滿洲國政府力共同
防衛ニ關聯シ同盟國ノ臣民若ハ人民ニ許與スル待遇及隣接國ニ復
數一トノ軍事的、政治的、經濟的、民族的其ノ他ノ事情ニ基ク特
殊不可離ノ關係ニ關聯シ右隣接國ノ臣民若ハ人民ニ許與スル待遇
ヲ除キ自國ノ法令ニ從ヒ通商及航海ニ關スル事項、産業、商業其ノ
他ノ平和的業務ニ從事スルノ自由、租税及課金ノ徵收並ニ財産ニ
關スル事項ニ付別國ノ臣民若ハ人民ニ對シ與ヘラルル待遇ヨリモ
不利益ヲラサル待遇ヲ與フヘシ
泰國政府ハ其ノ領域内ニ於テ滿洲國臣民ニ對シ自國ノ法令ニ從ヒ
通商及航海ニ關スル事項、産業、商業其ノ他ノ平和的業務ニ從事
スルノ自由、租税及課金ノ徵收並ニ財産ニ關スル事項ニ付別國ノ

外務省

22002 14

臣民若ハ人民ニ對シ與ヘラルル待遇ヨリモ不利益ヲラサル待遇ヲ
與フヘシ

第四條

兩締約國政府ハ兩國間ノ交通ヲ調整助長シ且相互ノ貿易ヲ促進スル
タメ互ニ協力スヘキコトヲ約ス

第五條

本條約ハ批准セラルヘク批准書ハ成ルヘク速ニ、ニ於テ交換セ
ラルヘシ
本條約ハ批准交換ノ日ヨリ實施セラルヘク且締約國ノ孰レノ一方ヨ
リモ本條約ノ效力ヲ消滅セシムルノ意思ヲ通告セサルトキハ本條約
ハ締約國ノ一方カ其ノ廢棄ヲ聲明シタル日ヨリ一年ノ期間ノ滿了ニ
至ル迄引續キ效力ヲ有ス

右證據トシテ兩國全權委員ハ本條約ニ署名調印ス

外務省

22002 15

B-0206

0:35

康徳七年 月 日
御西曆千九百四十年 月 日
於テ本書ニ通テ作成ス

外務省

日本標準規格 B5



22092

16

B-0206

0137